

【地域教育目標】 玉川を知り、誇りと愛着を育てる

【学校教育目標】  
自ら切りひらく たくましい児童・生徒

〔重点目標〕  
自分から一歩前へ

9年間をつなぐ玉川スタディ



軸1 【主体的に学ぶ児童生徒の育成】

- 「自己選択」「自己決定」できる機会の拡大
- 計画的かつ効果的なオンライン授業の実施
- 朝活動の中で、「学び方を学ぶ」時間の設定
- 個別最適な学びを通して、「わかった」「できた」を実感できる授業の実践
- 個の発達段階や特性に合わせ、視覚的に情報を提供する

軸2 【豊かな心と体の育成】

- 自主性・主体性を大切にした特別活動
- 実態に即したSSTの実施
- 考え、議論する道徳授業の実践
- より良い生活習慣を体得と、体、心、命の教育を推進
- 読書活動の充実

軸3 【玉川版ESD教育の推進】

- 一人ひとりのニーズや発達段階を考慮した個人テーマでの探究学習
- 実態に即した持続可能な太鼓活動・玉川茶生産活動の実施

【4つの伝統】

- 1人が十人分働く
- 大きな声であいさつ
- 無言清掃
- 時間を守る



たてのつながり(小中連携)

よこのつながり  
(地域との連携)

【特別支援教育の視点】

- 学校運営協議会(学校応援部会:放課後子ども教室)との連携
- 地域の人材・素材(人・もの・こと)を活かした豊かな学び
- 地域との合同活動:茶摘み・運動会・資源回収等

